

ふしょうっこ日記

令和 7 年6月24日

「教職大学院実習」

本校は、6月初旬に実施した学部生（主に3回生）の実習の他に、教職大学院生の実習を受け入れています。教職大学院生の実習は、学校支援実習と授業実践基本実習というものがあります。前者は、学校で子供たちの学習支援をしたり、行事等の運営で教師の支援をしたりする実習です。後者は、実習課題をたて、目標をもって教官の授業を参観します。そして、子供たちの姿から学んだり、これまでの知見を検証したりします。

今日は、学部生が研究支援で、6年生の家庭科の授業を撮影しに来てくれました。学習内容は、「自分で朝のスタートをレベルアップ！ 炒める調理の特徴を調べよう＋作ってみよう」でした。「青菜の炒め方は、強火で短時間がよいか、弱火でじっくり炒めるのがよいか」等、興味深い内容でした。家庭科では、小中一貫性を考慮したカリキュラムの構想について、大学と共同で研究していく予定です。子供たちの「いま」の学びが、どこから繋がっていて、どこへ向かうのかということを考えると、授業の見方も変わり、改めて「いま」を大事にしようと思います。

